

平成23年度
第2回 温海地域審議会
会議録（概要）

期日：平成23年7月22日（金）

場所：鶴岡市温海庁舎6階大会議室

平成23年度 第1回温海地域審議会 会議録

- 期 日 平成23年7月22日（金）午後1時30分～
- 場 所 鶴岡市温海庁舎 6階大会議室
- 出席委員 奥井厚委員、佐藤重夫委員、本間澄男委員、本間満委員、柴田実委員
橋本忠志委員、五十嵐孝昭委員、佐藤隆委員、佐々木真人委員、佐藤美代子委員
榎本五郎治委員、五十嵐英夫委員、佐藤容介委員、五十嵐淳子委員、斎藤徹委員
(15名)
- 欠席委員 剣持孝一委員、齋藤守峰委員、五十嵐良介委員、五十嵐安貴委員、鈴木義一委員
(5名)
- 市側出席者
<温海庁舎> 支所長 伊藤彦市
総務課長 本間節子、市民福祉課長 本間敏廣、市民福祉課主幹 富樫達男
産業課長 五十嵐勇一、観光商工主幹 粕谷一豊
建設環境課長 庄司又兵衛、教育主幹 石塚みさ
観光商工主査 百瀬政行、建設環境課主査 剣持一善
総務課課長補佐 三浦市樹、総務課総務地域振興主査 五十嵐浩一
総務課総務地域振興主査 鶴見美由紀、総務課調整主任 本間克秀
<本 所> 地域活性化推進室係長 三浦裕美
- 次 第
1. 開 会
 2. あいさつ
 3. 協 議
 - (1) テーマに基づく事業計画(案)について
 - (2) その他
 4. 現地視察
 5. 閉 会

1. 開会 (午後1時30分) (総務課長)

2. あいさつ 奥井会長
支所長

3. 協議

○奥井会長 協議に入ります。はじめにテーマに基づく事業改革(案)について担当のご説明をお願いします。

1 地域グループのネットワーク化について 【総務課】

① イベントの情報発信について (ソフト事業)

○説明者：総務課総務地域振興班 総務地域振興主査 五十嵐浩一

2 日沿道の利活用について 【産業課】

① インターチェンジ周辺の周遊観光づくり (ソフト事業)

○説明者：産業課 観光商工主幹 粕谷一豊

② 花いっぱい運動との連携と公共施設整備 (ハード事業)

○説明者：産業課 観光商工主幹 粕谷一豊

③ 天魄山の整備 (ハード事業)

○説明者：産業課 観光商工主幹 粕谷一豊

④ 温和の森の再整備 (ハード事業)

○説明者：産業課 課長 五十嵐勇一

3 農林水産業の後継者づくり 【産業課】

① 地域新規就業に向けた融資・利子補給制度の創設 (ソフト事業)

○説明者：産業課 課長 五十嵐勇一

○奥井会長 ただいま各担当の方からそれぞれのテーマに基づいて事業計画案について説明がありました。1番目の地域グループのネットワーク化について、2番目の日沿道の利活用についてはこの後現地視察を踏まえて次回の3回目の審議会の中でご意見を頂戴したいと考えております。3番目の農林水産業の後継者づくり、これについては事業が困難であるということで産業課長の方から説明ありました。昨年度審議委員会で提案された内容であります、この点についてご意見がございましたら頂戴したいと思いますのでよろしくをお願いします。

○佐藤副会長 3つ目のテーマ、農林水産業の後継者づくりについては、私も昨年年第2分散会の座長を務め、委員の方々からいろんなご意見いただきました。その中で特に県漁協理事の本間満委員より提言をいただいて協議されてきたわけですが、その件につきましては大変重要であり、漁業に限らず農林も含めて第1次産業全般に共通する今後の課題かなと思っています。

前回まで私ども林業の方での後継者づくり等について提案できなかったわけですが、去年の

夏頃から短尺材の製材事業を始めまして、何とか地域づくりの中で事業執行をとということで、11月から本格的に稼働となっております。

内容については短尺材、いわゆるB材というわけですが、集成材向けのラミナ製材でございませう。A材というのは一般住宅の建築用材に向ける皆伐された直材、B材というのは間伐材なり曲がり材で主に合板敷材に使われております。C材というのは、そのまた裏のほうの材でチップ、ペレットとかバイオマス燃料ということで今後このC材がますます活用の方向でいろいろな動きがあるのではないかとということですが、いま、うちの組合のほうで取り組んでいるのがB材でございませう。

今までですと県内に製造工場がなく、秋田の方に大きな合板会社がありました。また内陸の材は今震災に遭われました宮城県、岩手県に全国の30%も製造している大きな合板会社がありまして、そちらの方に材がはけていたわけですが、県内に処理出来る施設がないか、ということでうちの組合で取り組んだわけだ。地元で製造、出荷され、間伐などで山の手入れがされまして働き場の確保が出来ればということと合わせて、林家の所得につなげたいということで踏む込んだわけだでございませう。

去年冬に各集落の座談会の中で、今我々がやっているのは地元組合初め他の森林組合、各事業体から材を買って製材するわけですが、所有者自ら間伐などして集材し、2m丸太を軽トラックで組合のほうに運んでいただければ現金で買うという方法はどうか、ということで皆さんに相談して説明したわけだでございませう。

その取り組みの中で先月25日、庁舎の産業課と一体となりまして「サラリーマン林太郎」という名目で事業を持ったわけだでございませう。

内容につきましては、午前中にチェーンソー、やっぱり木を切ることになりませうとどうしてもチェーンソーが必要だので、チェーンソーのメンテナンス、目立ての仕方、安全な使い方について勉強しました。午後から実際現地に入りまして、伐採、枝払い、玉切り、搬出とそういったことで2m材に切ってトラックに積んで持ってくればいくらかになるか、ということで講習をしたわけだ。30名ほどの参加者がありまして大変好評であったと思ひませう。

現在2m材の買い取りについては現金で行っているわけだですが、地域の商工業や観光の振興に結びつける方法として、地域商品券を発行し、それで買い取りをしてはどうか、ということで商工会、また県や市の方とも相談をしております。

山の所有者だけでなく、商工・観光関係も含めて市民みんなが森林に関心を持っていただくことによって、担い手づくり、後継者づくりに繋がるのではないかとということで取り組みをしていますので、このような事業については是非この審議会で検討していただければと思ひませう。

○**奥井会長** 今3番目の農林水産業の後継者づくり、当初提案でありました新規就業に向けた融資、利子補給の制度については、期間の延長なり、利子補給はやっているそうだけれども国の制度を曲げることは困難だということで、今佐藤副会長から、農林水産業の雇用と後継者づくり、これについてご提言がございました。3番目のテーマにあります農林水産業の後継者づくりについては、事務局に再度協議をお願いしまして、次回の審議会で提案をお願いしたいと

考えておりますので、今佐藤副会長から話されたものも加味しながらご提案いただければありがたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

その他ご意見ございましたら。

それではないようですので現地視察の時間になっておりますのでこれもちまして協議は終了させていただきます。ありがとうございました。

4. 現地視察

- (1) 日沿道 I C (大岩川地区)
- (2) 温和の森
- (3) 天魄山
- (4) 日沿道 I C (五十川地区)

5. 閉会 (午後 4 時 4 5 分) (支所長)